

川のプロフィール

【安治川】あじがわ

今日では、淀川と大和川はそれぞれ別の川として大阪を流れています。大昔には淀川の下流部で大和川が合流して流れていました。そのため、合流付近には上流から運ばれてくる土砂が堆積し、数多くの砂州が形成されてきました。その周辺には低湿地帯が広がり、雨が降り続けると洪水や氾濫が起りました。このような水害を防ぐための取り組みのひとつとして貞享元年（1684）より開削されたのが安治川です。

治水に加え、この開削によって船舶が海からそのまま市中に入れるようになり、安治川は「出船千艘、入船千艘」の賑わいを見せ、大阪を活気あふれる「天下の台所」へと導きます。



国道43号線・春日出橋（かすがでばし）付近



川の位置 全体図



大阪市西区川口（かわぐち）付近